

土地利用に関するアンケート結果報告について

1. 実施状況

(1) 実施概要

1 目的

市民参加の市政の実現と大町市における土地利用についての市民の意識を調査し、平成23年から平成32年までを計画期間とする第3次国土利用計画策定の基礎資料とする。

2 調査方法

調査地域 市全域

調査対象 市内に住む16歳以上の男女

抽出方法 大町地域（大町・平・常盤・社地区）

住民基本台帳マスターファイルから等間隔無作為抽出

2,000名

八坂地域・美麻地域 調査対象者全員

1,734名

調査方法 大町地域（大町・平・常盤・社地区）

郵送方式（配付及び回収とも）

八坂地域・美麻地域

手配り（配付のみ）

郵送方式（回収）

調査期間 平成22年7月26日～8月9日

(2) 回収率等

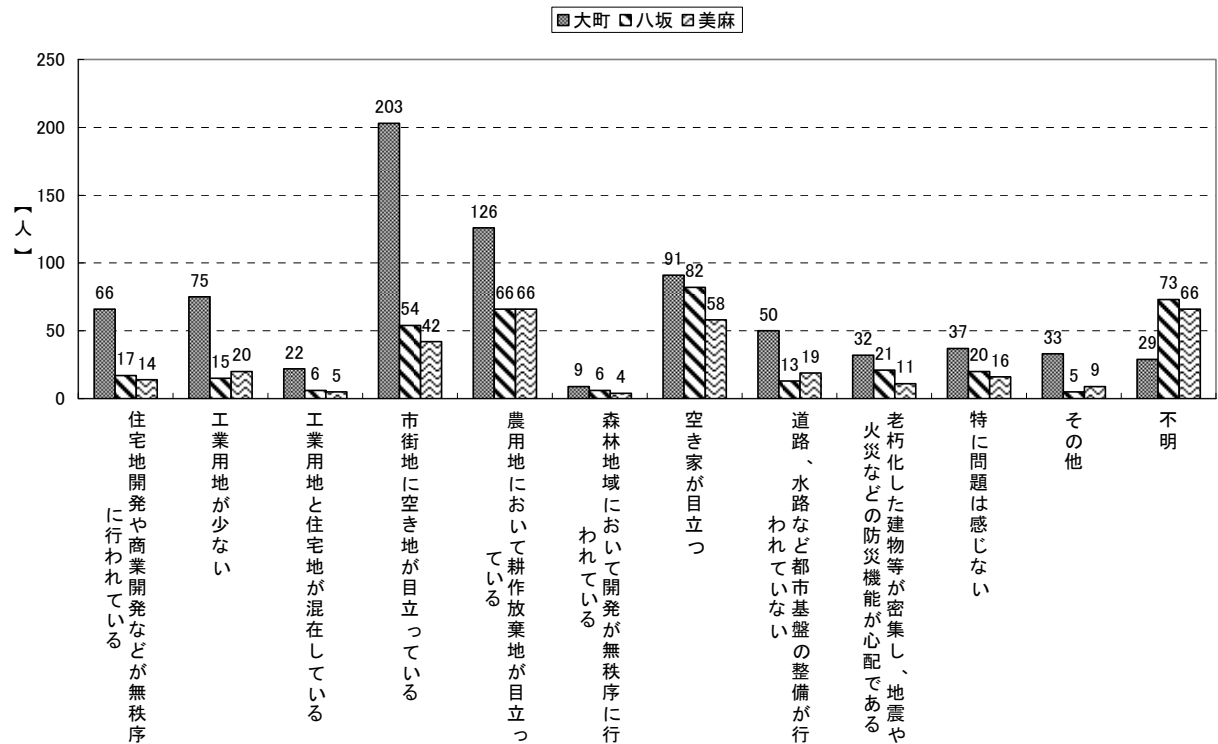
(単位:人)

		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明
大町地区	対象者(人)	2,000	88	204	295	251	310	365	487	-
	回答者数(人)	773	19	55	69	96	130	200	199	5
	回答割合(%)	38.7%	21.6%	27.0%	23.4%	38.2%	41.9%	54.8%	40.9%	-
八坂地区	対象者(人)	799	35	66	75	105	152	105	261	-
	回答者数(人)	378	11	30	25	41	74	57	128	12
	回答割合(%)	47.3%	31.4%	45.5%	33.3%	39.0%	48.7%	54.3%	49.0%	-
美麻地区	対象者(人)	935	47	72	101	136	139	144	296	-
	回答者数(人)	330	12	14	23	45	52	54	120	10
	回答割合(%)	35.3%	25.5%	19.4%	22.8%	33.1%	37.4%	37.5%	40.5%	-
全体	対象者(人)	3734	170	342	471	492	601	614	1044	-
	回答者数(人)	1481	42	99	117	182	256	311	447	27
	回答割合(%)	39.7%	24.7%	28.9%	24.8%	37.0%	42.6%	50.7%	42.8%	-

2. アンケート結果概要

(1) 設問1

あなたは、大町市の土地利用上の課題はどんなことだと思いますか。



(単位: 人)

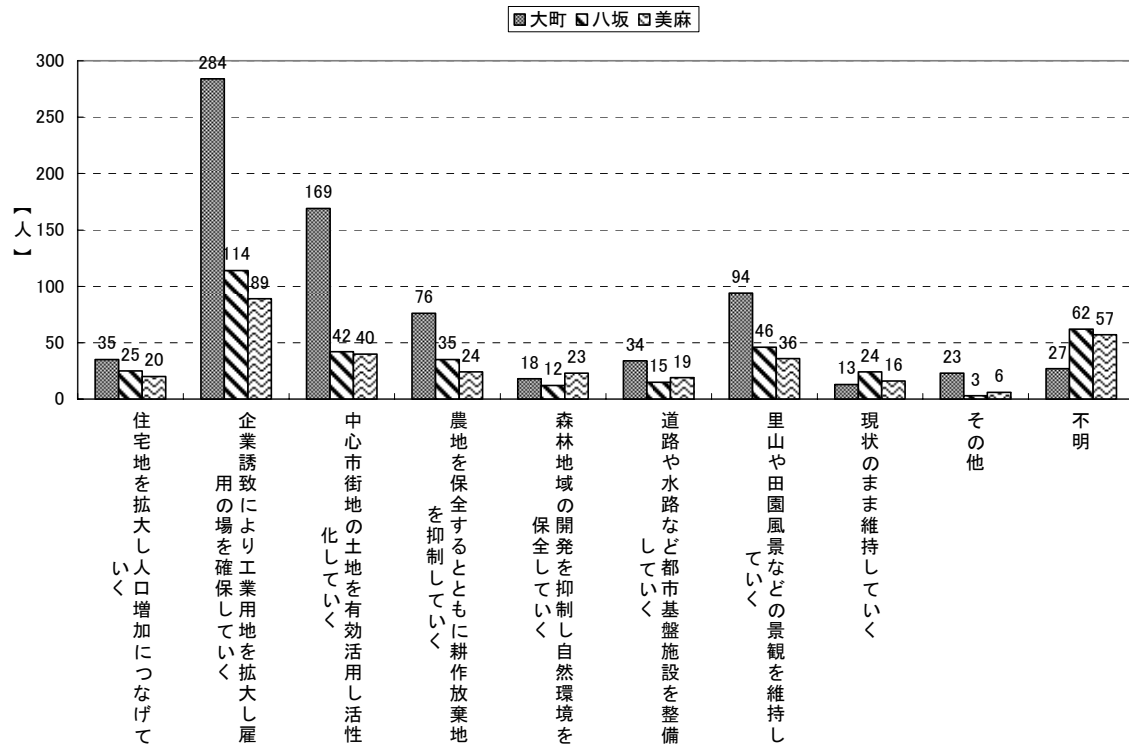
項目	大町	八坂	美麻
住宅地開発や商業開発などが無秩序に行われている	66	17	14
工業用地が少ない	75	15	20
工業用地と住宅地が混在している	22	6	5
市街地に空き地が目立っている	203	54	42
農用地において耕作放棄地が目立っている	126	66	66
森林地域において開発が無秩序に行われている	9	6	4
空き家が目立つ	91	82	58
道路、水路など都市基盤の整備が行われていない	50	13	19
老朽化した建物等が密集し、地震や火災などの防災機能が心配である	32	21	11
特に問題は感じない	37	20	16
その他	33	5	9
不明	29	73	66
総計	773	378	330

全体概要

大町市の土地利用上の課題については、大町、八坂、美麻全地区において「市街地に空き地が目立っている」「農用地において耕作放棄地が目立っている」「空き家が目立つ」が上位3位までを占めている。

(2) 設問2

あなたは、将来の大町市の土地利用について、どんなことを重点に取り組んでいくことが望ましいと思いますか。



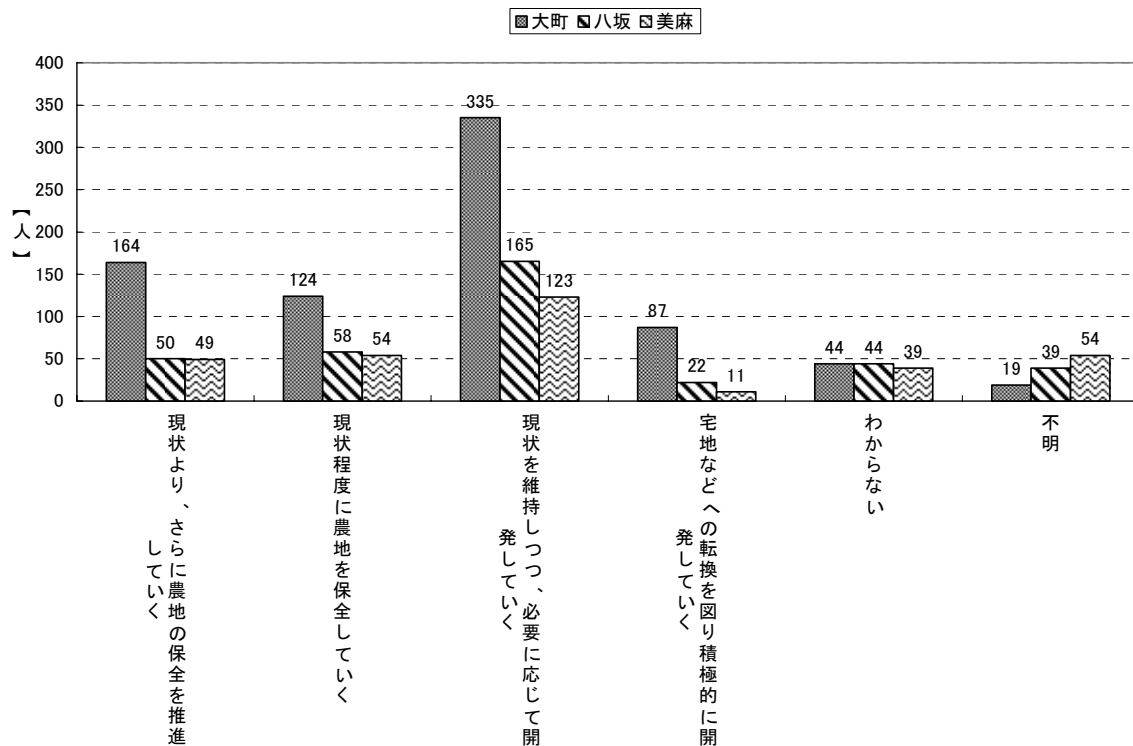
項目	大町	八坂	美麻
住宅地を拡大し人口増加につなげていく	35	25	20
企業誘致により工業用地を拡大し雇用の場を確保していく	284	114	89
中心市街地の土地を有効活用し活性化していく	169	42	40
農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく	76	35	24
森林地域の開発を抑制し自然環境を保全していく	18	12	23
道路や水路など都市基盤施設を整備していく	34	15	19
里山や田園風景などの景観を維持していく	94	46	36
現状のまま維持していく	13	24	16
その他	23	3	6
不明	27	62	57
総計	773	378	330

全体概要

大町市の将来の土地利用については、大町、八坂、美麻全地区において「企業誘致により工業用地を拡大し雇用の場を確保していく」が1位であり、上位3位までは、「中心市街地の土地を有効活用し活性化していく」「里山や田園風景などの景観を維持していく」が占めている。また、「農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく」についても、全地区において4番目に高くなっている。

(3) 設問3

あなたは、農地のあり方について、どのようにしていったら良いと思いますか。



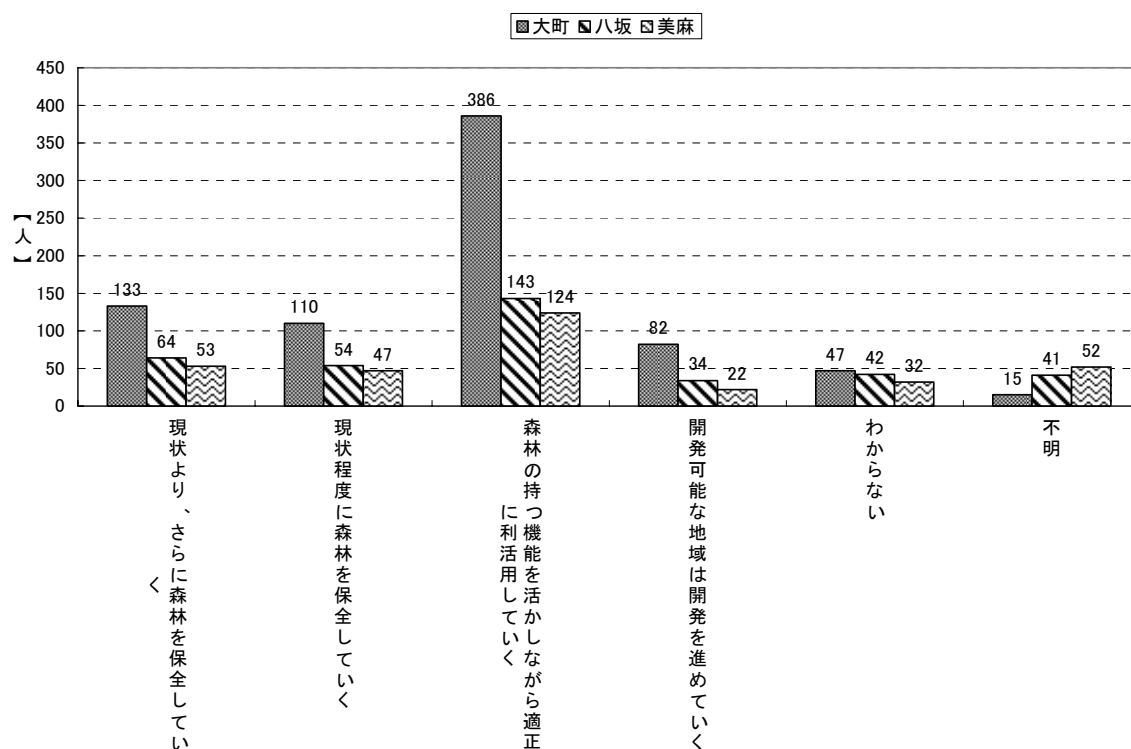
項目	大町	八坂	美麻
現状より、さらに農地の保全を推進していく	164	50	49
現状程度に農地を保全していく	124	58	54
現状を維持しつつ、必要に応じて開発していく	335	165	123
宅地などへの転換を図り積極的に開発していく	87	22	11
わからない	44	44	39
不明	19	39	54
総計	773	378	330

全体概要

農地のあり方については、大町、八坂、美麻全地区において「現状を維持しつつ、必要に応じて開発していく」が1位となっている。「宅地などへの転換を図り積極的に開発していく」については各地区ともあまり高くなかった。

(4) 設問4

あなたは、森林地域のあり方について、どのようにしていったら良いと思いますか。



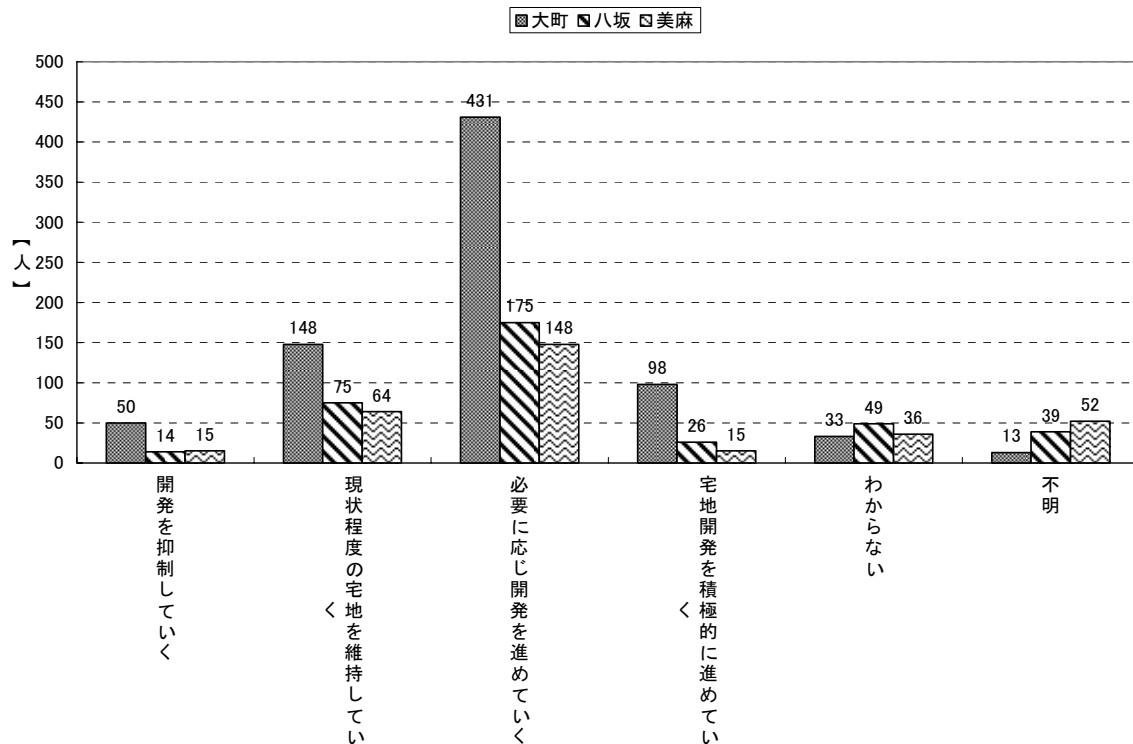
項目	大町	八坂	美麻
現状より、さらに森林を保全していく	133	64	53
現状程度に森林を保全していく	110	54	47
森林の持つ機能を活かしながら適正に利活用していく	386	143	124
開発可能な地域は開発を進めていく	82	34	22
わからない	47	42	32
不明	15	41	52
総計	773	378	330

全体概要

森林地域のあり方については、大町、八坂、美麻全地区において「森林の持つ機能を活かしながら適正に利活用していく」が1位となっている。「開発可能な地域は開発を進めていく」については各地区ともあまり高くなかった。

(5) 設問5

あなたは、住宅地のあり方について、どのようにしていったら良いと思いますか。



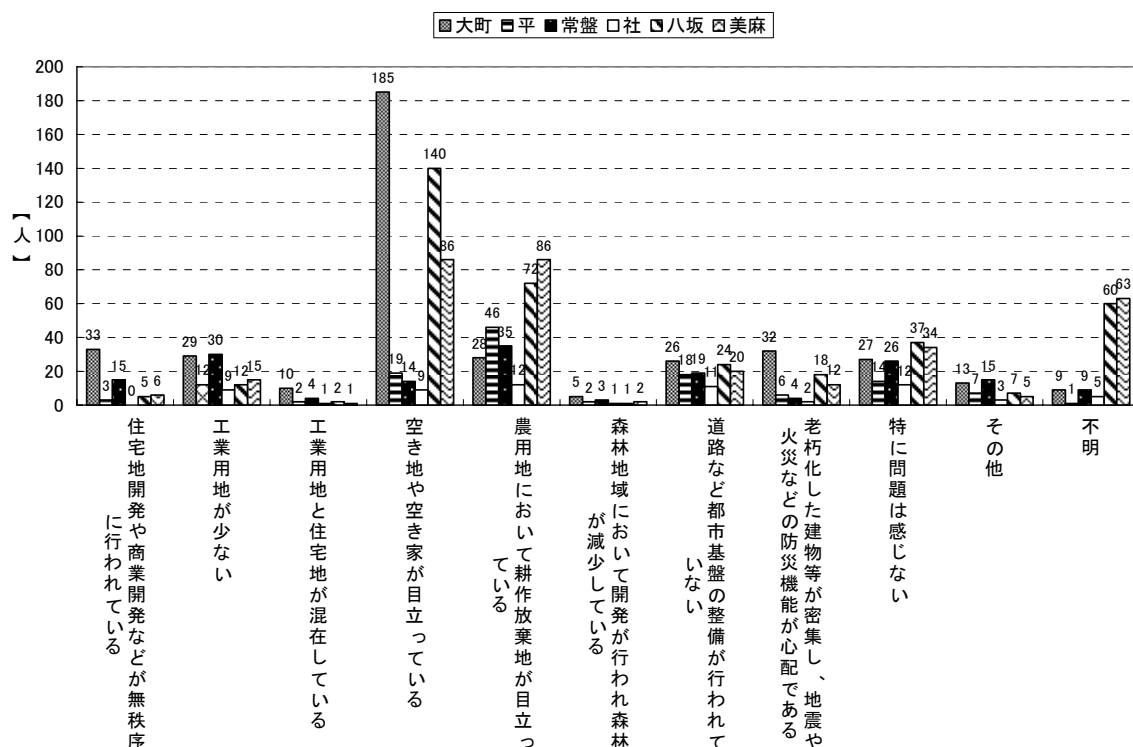
項目	大町	八坂	美麻
開発を抑制していく	50	14	15
現状程度の宅地を維持していく	148	75	64
必要に応じ開発を進めていく	431	175	148
宅地開発を積極的に進めていく	98	26	15
わからない	33	49	36
不明	13	39	52
総計	773	378	330

全体概要

住宅地のあり方については、大町、八坂、美麻全地区において「必要に応じ開発を進めていく」が全体の約半数を占めている。次いで、「現状程度に宅地を維持していく」が全体の約2割を占めている。

(6) 設問6

あなたがお住まいの地区（大町・平・常盤・社・八坂・美麻）の土地利用上の課題は、どんなことだと思いますか。



項目	大町	平	常盤	社	八坂	美麻
住宅地開発や商業開発などが無秩序に行われている	33	3	15	0	5	6
工業用地が少ない	29	12	30	9	12	15
工業用地と住宅地が混在している	10	2	4	1	2	1
空き地や空き家が目立っている	185	19	14	9	140	86
農用地において耕作放棄地が目立っている	28	46	35	12	72	86
森林地域において開発が行われ森林が減少している	5	2	3	1	1	2
道路など都市基盤の整備が行われていない	26	18	19	11	24	20
老朽化した建物等が密集し、地震や火災などの防災機能が心配である	32	6	4	2	18	12
特に問題は感じない	27	14	26	12	37	34
その他	13	7	15	3	7	5
不明	9	1	9	5	60	63
総計	397	130	174	65	378	330

大町地区

土地利用上の課題については、「空き地や空き家が目立っている」が1位で突出し、全体の約半数近くを占めている。他の項目については、全体の1割程度の割合となっている。

平地区

土地利用上の課題については、「農用地において耕作放棄地が目立っている」が1位、「空き地や空き家が目立っている」が2位、「道路などの都市基盤の整備が行われていない」が3位となっている。

常盤地区

土地利用上の課題については、「農用地において耕作放棄地が目立っている」が1位、「工業用地が少ない」が2位、「特に問題は感じない」が3位となっている。

社地区

土地利用上の課題については、「農用地において耕作放棄地が目立っている」及び「特に問題は感じない」が1位、「道路などの都市基盤の整備が行われていない」が3位となっているが、「工業用地が少ない」、「空き地や空き家が目立っている」も含め5項目で高くなっている。

八坂地区

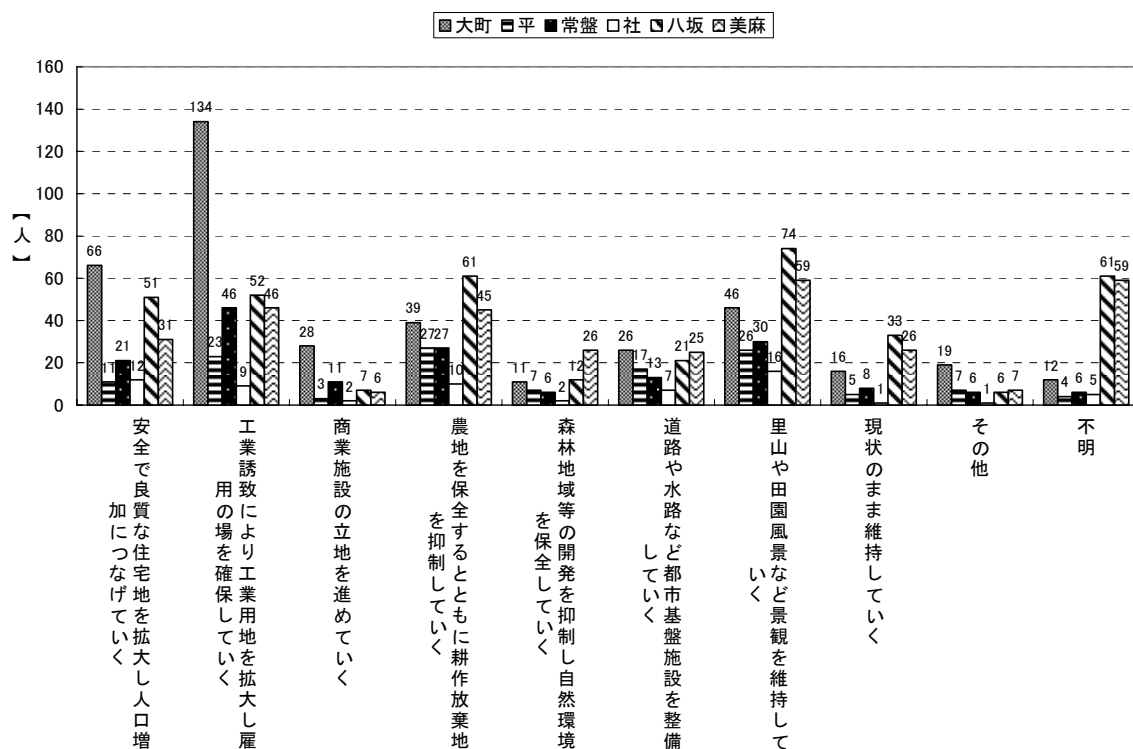
土地利用上の課題については、「空き地空き家が目立っている」で1位、「農用地において耕作放棄地が目立っている」が2位となっており、この2項目が突出している。

美麻地区

土地利用上の課題については、「空き地空き家が目立っている」及び「農用地において耕作放棄地が目立っている」が1位となっており、この2項目が突出している。

(7) 設問7

あなたがお住まいの地区（大町・平・常盤・社・八坂・美麻）の将来の土地利用について、どんなことを重点に取り組んでいくことが望ましいと思いますか。



（単位：人）

項目	大町	平	常盤	社	八坂	美麻
安全で良質な住宅地を拡大し人口増加につなげていく	66	11	21	12	51	31
工業誘致により工業用地を拡大し雇用の場を確保していく	134	23	46	9	52	46
商業施設の立地を進めていく	28	3	11	2	7	6
農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく	39	27	27	10	61	45
森林地域等の開発を抑制し自然環境を保全していく	11	7	6	2	12	26
道路や水路など都市基盤施設を整備していく	26	17	13	7	21	25
里山や田園風景など景観を維持していく	46	26	30	16	74	59
現状のまま維持していく	16	5	8	1	33	26
その他	19	7	6	1	6	7
不明	12	4	6	5	61	59
総計	397	130	174	65	378	330

大町地区

将来の土地利用については、「企業誘致により工業用地を拡大し雇用の場を確保していく」が1位となっており、「安全で良質な住宅地を拡大し人口増加につなげていく」が2位、「里山や田園風景など景観を維持していく」が3位となっている。

平地区

将来の土地利用については、「農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく」が1位、「里山や田園風景など景観を維持していく」が2位、「工業誘致により工業用地を拡大し雇用を確保していく」が3位となっている。

常盤地区

将来の土地利用については、「工業誘致により工業用地を拡大し雇用を確保していく」が1位、「里山や田園風景など景観を維持していく」が2位、「農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく」が3位となっている。

社地区

将来の土地利用については、「里山や田園風景など景観を維持していく」が1位、「安全で良質な住宅地を拡大し人口増につなげていく」2位、「農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく」が3位、「工業誘致により工業用地を拡大し雇用を確保していく」が僅差で4位となっている。

八坂地区

将来の土地利用については、「里山や田園風景など景観を維持していく」が1位、「農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく」が2位、「工業誘致により工業用地を拡大し雇用を確保していく」が3位となっており、「安全で良質な住宅地を拡大し人口増につなげていく」も僅差で4位となっている。

美麻地区

将来の土地利用については、「里山や田園風景など景観を維持していく」が1位、「工業誘致により工業用地を拡大し雇用を確保していく」が2位、「農地を保全するとともに耕作放棄地を抑制していく」が3位となっている。